

恵庭市総合計画審議会（会議記録）

会議名	恵庭市総合計画審議会 第6回 会議	
日時	平成17年8月26日(金)16時00分～16時55分	
会場	市役所3階 第3委員会室	
出席者	委員～出席18名(※欠席委員3名) 市側～永田助役、竹村企画財政部長、斉藤企画財政部次長、 菅原企画調整課長、吉田主査、佐々木主査	
記録	氏名	企画財政部企画調整課 主事 山口 晃弘

- 1.開 会
- 2.審議事項
 - (1) 基本構想・基本計画答申(案)について
- 3.その他
- 4.閉 会

○ 会議の概要

(村本会長)第6回、最後になるかと思いますが、総合計画審議会を始めます。昨年12月に市長に諮問を受けてから18回に及ぶ専門部会を開催しました。恐らく各部会、各委員さんにおかれましても、色々なご苦労があったと思います。限られた時間ではありましたが、様々な審議が行われたと思います。今後も委員の皆さんが、各地域において、この計画を意識しながら活動していただいて、まちづくりについて話し合っただけであればいいと思います。本日はお手元にありますが、基本構想・基本計画答申(案)が取りまとめられておりますが、更に議論の残る部分があれば、意見をいただきたいと思っております。その前に各部会の全体的なまとめについて、各部会長さんの思いも交えながらご報告願います。

(島田委員)教育福祉部会では、非常に範囲が広がったのですが、5回の審議を致しました。「学校」「家庭」「地域」について、恵庭という地域の中で連携して多彩な人材の活用や交流、場を通じた学校づくり、誰もが生涯にわたり主体的に学び知識や技術を高めることができるような学習環境づくり、スポーツ活動を通じた健康づくりなど。また、少子化が一層加速している現代で、次代を担う子供を安心して産み育てることのできる、子育て支援の環境づくり。又加えて、高齢化の進展や生活習慣病などに起因する疾病が増える傾向にありまして今後の、市民の健康づくりへの意識も高まっている中、予防の視点から保健・医療・福祉が連携した総合的な取り組みをどのようにしていかなければならないか、などについて、広く浅くになってしまった面については否めないですが、議論いたしました。こうした分野については、これまでも日々施策として行われていますが、その延長線上により良い施策を積み上げていけるような事を織り込めたと思います。短い時間でしたが、

何とか提出できる形となったことに安堵しているというのが素直な感想です。各委員の皆さん有難うございました。

(玉川委員) 都市環境という部分で11分野について5回の審議をやらせていただきました。どのまちでも同じ課題かと思いますが、ハードをどのように整理するか、そして、その中にどのようにソフトを盛り込むかといった話、そして協働を進めなければいけないというのが、全体を通しての話題だったと思います。そうした課題を背景に、大きく3つ。1つ目には自然環境・都市環境が融和した、住んでよかったと思えるまちづくり。2つ目に、都市機能の充実、上下水道やゴミ問題そしてユニバーサルデザインの確立、子どもを守る防犯、災害に強い防災など。3つ目に循環型社会をいかに構築するか、ゴミ処理を適切に行って持続していけるまちづくり。この3つの大きな問題について、先ほど行ったハードも考えながら、ソフトも盛り込んで行かなくてはという話になりました。専門知識が少なく各部署の担当の方から勉強させていただいたり、各委員さんの協力をいただきながら、なんとかここまで持ってこれた気がします、有難うございました。

(井関委員) 地域振興部会では、農業、商業、工業、そして地域活性化など、いかに地域と密着して、観光や、2次産業などの地域資源を活かしていくかについて、話し合いました。農業では、今策定中の第3次農業振興計画を含めた中で、農業振興のあり方について審議いたしました。商業では大型店の進出や、地元商店街との関係、そして、これまでのような地域に根ざした商店の姿が求められているといったことなどについて話し合いました。そして、目玉になるような観光事業の創出やその基となるような恵庭ブランドづくりなど、そして、水・緑・花を今のままではなくもっと強力に取り上げる事などを議論しました。そんな中で、これからは行政に何でもやらせようでは限界がでてきているので、協働で、市民・事業者・行政がスクラムを組んで役割を分担し、情報の共有もしながら街づくりをしなければいけないということになりました。個人的には、時間的に出来ませんでした。もう少し財政問題、税も伸び悩み市民の要求も増えているといったことについて話したかった気もします。

(村本会長) 有難うございました。それでは、皆さんほかに意見のある方は。今までやってきたことで、思いついた事でもいいので。

(岡田委員) 今回の基本構想・基本計画について、1つ1つ審議してきましたが、点から線、更には面といったように広がる形に出来なかったのが、少し悔いが残ります。実現する中でも、1つ1つを関連付けて、大きな柱を作って欲しいと思います。そして、今後も是非いろいろな事に係わって欲しいと思いました。

(池永委員) 私もそう思います。わずかな時間で、非常に大きな問題をやったので、時間が十分でなかった気がします。もっと時間が欲しかったです。これからももっともっと深く考えていきたいと思います。そして、自分の目で見て、これから解るような実になって欲しいですね。

(井関委員) 基本構想10年・基本計画5年について審議してきたけど、より具体的な表現が難しいという感想を持ちました。一番重要なのは、構想と計画2つに基づいて行う実施計画。実施計画が市民にとって一番身近で、一番中身を見たい、知りたい部分だと思います。出来れば、実施計画に更に重きをおいて、協働で策定できるようにして欲しいと思います。

(村本委員) 審議会、部会を通しての想いですが、最初に、それぞれ地域に持ち帰って話をしていきたいと考えていましたが、我々の知識も足りないなかで、67,000人の10年後の姿をこの時間、このメンバーだけで描く事は非常に難しかったなど。市民というのは、木の幹ではないか、それにどんな接木をしていくのかが、今回の話かなど。花をつけたり、実をつけたり一番関心のあるところはこの後の実施計画かなど。具体的に5年間で、あれを作ります、何をしますといった事はあまり作れなかったかも知れません。しかし、少なくとも今後の5年間で、市民のほとんどが、恵庭の行政に関心を持って、地域を意識してやっていかなければいけない。市民の皆が周りのことを考えるという事が、恐らくこの5年間の答申に入っている全てではないかと。福祉も教育も全部そうです、市民自らが行政をどうやるのか、地域をどう守るのか、常に意識しないと。市民が1人でも多く一緒になって街づくりをするといった考えになって欲しい、一緒に考えていきたい。そういう想いだけはみんなあると。我々も今回勉強になったし、街づくりの難しさも知ったけれども、是非市民のみなさんにも今の想いを理解していただけるように、自分の地域でもいろんな人に伝えていきたいなど。そして、5年後に変わってきたことが実感できるような協働の社会を作っていきたいと思います。

その外、何かありますか。

(井関委員) 総合計画の中で、大きな目玉3つくらいは、重点になるようなものが欲しかったかなとも思います。

(岡田委員) 4期はやはり3期の上にとまっていると思うので、まだ3期は終わっていませんが、3期の評価・反省も踏まえて、4期の微調整を行ったり、実施計画に反映したりして欲しいですね。

(長谷川委員) 2つありますが、1つは、水・緑・花を基調として、人が中心となってやっていくというのは、非常に良い将来の像だと思うので、出来るだけ市民の身近にあるように意識してやって欲しいと思います。2つ目は、これから具体的に実施計画の段階になるときに、3年ではこの基本計画のうちどこまで、2年ではここまで、といった経過がよくわかるように、具体的に基本計画が生かされているなというのがわかるようなものを提供して欲しいです。

(富永委員) 市民の希望がどう出せるのか、市民をうならせる事が出来るような目玉が欲しかったと思うのは、自分の反省も含んでます。これから4期の時代に金は無い時代なので、市民の協働・参加をどう引き出すか、これが4期の計画の成否にかかわってくると思うので、しっかり考えていかなければと実感しています。

(池永委員) ゴミの有料化はもっと早くからやっても良かったのかなと思います。いろんな波紋が出るとは思いますが、仕方の無い事なので、出来るだけ早く進めて欲しいと思います。

(島田委員) 大きな目玉が無いという話がありましたが、時節柄難しいと思います。ただ、この5年間は今のところ我慢ですが、もし、その間に凄い計画が出て来たら、市民のためになるのであれば、基本計画には載ってなくても検討できるように、柔軟に対応して欲しいと重います。

(只野委員) 街づくりを考えるときに、福島県の矢祭町ここは人口7,000人くらいの町ですが、いい街づくりをしているので、是非行ってきて欲しいと思います。

(村本委員) 外に意見はありませんか。それでは、意見は出していただいたようなので、

改めて伺いますが、この案を答申としてよろしいでしょうか。

～各委員の賛同～

(村本委員)有難うございます。それでは、この基本構想・基本計画答申(案)を正式な答申と致します。これで、市長へ提出いたします。日程等について、事務局から何かありますか。

(菅原課長)答申案の提出についてですが、改めて、皆さんにご参集いただくのも、大変お忙しいかと思いますので、村本会長と富永副会長の2名で、9月2日(金)の13:30に提出いただこうかと考えていますが。

(村本委員)それで宜しいでしょうか。それでは、9月2日に提出してまいります。では、最後になりますが、永田助役さんより一言お願い致します。

(永田助役)みなさまに置かれましては、昨年12月から9ヶ月間にわたり、全体会6回、専門部会18回のご審議をいただきまして本当に有難うございました。少子高齢化、経済の長期低迷化など、難題の山積した時期ではありますが皆さんには本当に熱心な議論をいただきました。絵に描いたものを、いかに実現していくか。実施計画でこの基本計画の意を反映していく経過については、皆さんにきちんとお知らせしていきます。今後、この答申は、9月の第3回定例議会に上程し、特別委員会にて審議いただきます。そして、12月の第4回定例議会にて承認いただく予定となっております。皆様におかれましては、今後とも街づくりのリーダーとなっていただき、各地域、分野において行政との協働の実践者としてご活躍いただきたいと思います。本来であれば、市長が直接皆様にお礼を申し上げるところでございますが、公務が重なりましたので、私がお挨拶いたしておりますが、長期間にわたっての大変熱のこもったご審議、本当にご苦労様でした。

会議終了